



# M&Sトピックス



Andrew Alliance

リモートワークに気を取られがちですが...

## 自動分注機 x クラウドで備えあれば憂いなし!!

### ✓ 毎日研究室に行けない / 行かない世の中...?

これまでは...

今日も頑張ろう!



研究室

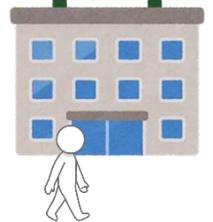


今日この頃...

明日から在宅なんだよね。  
これと、あれと...  
頼めないかな?



研究室



働き方改革やコロナ禍での人員・作業時間の削減、さらには入社機会の減少...  
このような状況下でも研究をストップすることは難しく、作業員1人あたりの負担が増大しているのではないかと思います。

**このような状況を打開するために皆さんならどうされますか?**

### ✓ クラウド対応の自動分注機は救世主?!

私は、まさきに自動化・遠隔化を思い浮かべます。  
実際のところ、自動化や遠隔化を検討されている方も多いのではないのでしょうか。「分注と解析作業を自動化し、そこに対して遠隔で指示をする」、とても合理的ですし、画期的ですよね。  
遠隔化が可能な"クラウド"で運用することができる自動分注機が急速に増えてきています。まさに、"救世主"ですよね。

**...クラウド対応の自動分注機は本当に  
"ただの救世主"なのでしょうか??**



## ✓ “今後のため”の備えにもなります



クラウド対応の自動分注機を導入する目的は、作業を遠隔化すること。作業の遠隔化を図る目的は、毎日研究室に行かない様な世の中でも研究を円滑に進めることです。

昨今の社会情勢は一時的なものかもしれませんが、今後またこのような不測の事態が起こる可能性もあります。今のうちにクラウドでの運用を始めると「遠隔での研究体制を築く」ことができます。これは、次に不測の事態が起こった際の研究の滞りを最小限にすることに大きく寄与します。

まさに、「備えあれば憂いなし」ではないでしょうか。

## ✓ だからこそ、先を見据えた選択を!!

自動化・遠隔化を委ねる分注機に重要なことは何でしょうか。作業の正確性は重要ですが、自動分注機のほとんどが熟練者並みの分注精度を誇っていますので、自動分注機を検討する際にこの点を気にする必要はあまりないと思います。



“今後のための備え”という観点から考えると、「扱いやすさ」と「柔軟性」が非常に重要ではないでしょうか。

## ✓ 扱いやすさと柔軟性を兼ね備えた Andrew+

クラウド対応!!



### 「扱いやすさ」

扱う人が限られてしまうようでは、自動化・遠隔化できる作業が限られてしまいます。

### 「柔軟性」

ある作業向けの“専用機”では刻々と変化する作業内容に対応していくことができません。

Andrew+はドラッグ&ドロップで直感的にプログラムを作成できる非常に扱いやすい自動分注機です。さらに、生化学的分野から分析分野まで幅広い用途で活躍しており、十分な柔軟性を有しています。製品の詳細は[コチラ](#)をご覧ください。

弊社では、大小さまざまな自動化製品を取り扱っています。よろしければ[コチラ](#)もご覧ください。

**エムエス機器株式会社**

[www.technosaurus.co.jp](http://www.technosaurus.co.jp)

□東京 〒162-0805 東京都新宿区矢来町113 TEL(03)3235-0661(代)

□大阪 〒532-0005 大阪市淀川区三国本町2-12-4 TEL(06)6396-0501(代)

※会社名および商品名は、各会社の商標または登録商標です。

●本トピックスに記載の規格・仕様・外観および価格は、改良などのため予告なく変更する場合があります。

MSTopics-020/202101